



2020年12月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2020年5月15日

上場会社名 株式会社ジーエヌアイグループ

上場取引所 東

コード番号 2160 URL <http://www.gnipharma.com>

代表者 (役職名) 取締役代表執行役社長兼CEO (氏名) イン・ルオ

問合せ先責任者 (役職名) 取締役代表執行役CFO (氏名) トーマス・イーストリング (TEL) 03-6214-3600

四半期報告書提出予定日 2020年5月15日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第1四半期の連結業績（2020年1月1日～2020年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第1四半期	2,125	34.9	416	65.9	390	46.6	258	8.0	132	11.0	112	△56.9
2019年12月期第1四半期	1,575	55.6	251	136.5	266	-	239	-	119	-	261	-

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第1四半期	3.05	2.96
2019年12月期第1四半期	2.87	2.84

(注) 当社は、2019年9月4日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っています。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、前第1四半期連結累計期間の「基本的1株当たり四半期利益」及び「希薄化後1株当たり四半期利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率	1株当たり親会社 所有者帰属持分
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2020年12月期第1四半期	21,282	13,116	10,678	50.2	246.03
2019年12月期	20,607	13,095	10,692	51.9	246.54

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	-	-	-	0.00	0.00
2020年12月期	-	-	-	-	-
2020年12月期（予想）	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年12月期の連結業績予想（2020年1月1日～2020年12月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,672	29.9	1,516	16.5	1,463	22.2	951	51.1	533	193.3	12.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

新型コロナウイルス感染症の収束時期、影響を見通すことが困難であるため、上記業績予想はその影響を反映しておりません。上記業績予想の修正を必要とした場合は適時開示して参ります。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社 （社名）除外 一社 （社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年12月期1Q	43,405,449株	2019年12月期	43,369,449株
② 期末自己株式数	2020年12月期1Q	1,223株	2019年12月期	1,223株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年12月期1Q	43,395,522株	2019年12月期1Q	41,582,958株

（注）2019年9月4日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っています。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料6ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績・財政状態に関する分析	2
(1) 経営成績に関する分析	2
(2) 財政状態に関する分析	3
(3) 研究開発活動	4
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明.....	6
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	7
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	7
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	8
要約四半期連結損益計算書	8
要約四半期連結包括利益計算書	9
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	10
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(作成の基礎)	13
(セグメント情報)	13
(重要な後発事象)	15

1. 経営成績・財政状態に関する分析

当第1四半期累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染拡大により景気の減速傾向が強まり、先行きは極めて不透明な状況となっております。

この様な状況の中、当社グループはビジネスの混乱を最小限に抑え、従業員の健康を確保しながら、世界中の患者の皆様へ新しい希望をもたらすことに全力で取り組んで参りました。医薬品市場では、中国北京コンチネント薬業有限公司(以下、BCという。)のアイスリュイの売上収益が四半期ベースで伸びており、ヘルスケア事業ではマスクおよび関連するヘルスケア製品の売上収益が大幅に拡大いたしました。また、米国市場では、Berkeley Advanced Biomaterials LLC(以下、BABという。)の医療機器事業が安定的かつ継続的に収益を確保し、第1四半期連結業績としては前年同期に対して増収増益となりました。なお、当社グループの中国における臨床試験につきましては、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、一時的ではありますが停止した期間が発生し、進捗が遅れが生じましたが、米国Cullgen Inc.(以下、Cullgenという。)が行っている開発プログラムにつきましては、その影響が軽微であったため順調に進めることができました。

また、2020年3月23日にエーザイ株式会社との間で、当社が創出したエンドセリンA受容体選択的拮抗薬・ER-000582865を中国(台湾、マカオ、香港含む)において医薬品として研究・開発・販売するために必要な知的財産権の独占的実施権許諾に関するライセンス契約を締結いたしました。本契約により、当社は、当該地域におけるER-000582865の肺動脈性肺高血圧症(PAH)治療薬としての開発・販売権および将来的な腎疾患治療薬としての開発・販売に関するオプション権を有することになり、これを機に線維性疾患をはじめとする現在の製品ポートフォリオを拡充し、同分野を先導する企業として地位を固めて参ります。

当第1四半期連結累計期間の当社グループの業績概要は以下のとおりです。

(1) 経営成績に関する分析

当第1四半期連結累計期間の経営成績

連結経営成績概要

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間	当第1四半期連結累計期間	差額
売上収益	1,575,365	2,125,906	550,540
売上総利益	1,321,428	1,748,893	427,465
営業利益	251,008	416,469	165,460
四半期利益	239,218	258,340	19,122

売上収益及び売上総利益

当第1四半期連結累計期間において、売上収益は前年同期比約34.9%増加の2,125,906千円となりました。当第1四半期連結累計期間の売上総利益は、前年同期比約32.3%増加の1,748,893千円となりました。前年同期に比べたこの売上収益の増加は、主にBCが新型コロナウイルスの感染拡大で営業停止期間があったにもかかわらず、アイスリュイの売上が堅調に推移したことによるものです。

営業利益

当第1四半期連結累計期間の営業利益は、前年同期比約65.9%増加の416,469千円となりました。当社グループのBC及びBABの収益性向上が貢献して、営業利益は引き続き増加しております。

四半期利益

当第1四半期連結累計期間の四半期利益は、前年同期比約8.0%増加の258,340千円となりました。前年同期に比べ法人所得税費用が大幅に増加したものの、四半期利益は増加しております。

販売費及び一般管理費並びに研究開発費

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間	当第1四半期連結累計期間	差額
販売費及び一般管理費	△959,022	△1,122,503	△163,481
人件費	△362,287	△458,554	△96,267
研究開発費	△127,681	△208,909	△81,227

当第1四半期連結累計期間の販売費及び一般管理費は、前第1四半期連結累計期間に比べ163,481千円増加し、1,122,503千円となりました。これは一つには、Continent Pharmaceuticals Inc. (BCを子会社とするケイマン諸島の当社子会社、以下、CPIという。)の香港上場準備に関連する費用が計上されたことによるものです。研究開発費が前年同期に比べ増加したのは、中国におけるアイスーリュイの追加適応症及びCullgenにおいて継続中の創薬研究活動によるものです。

金融収益及び金融費用

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間	当第1四半期連結累計期間	差額
金融収益	31,070	10,898	△20,172
金融費用	△15,445	△36,520	△21,075

金融収益

当第1四半期連結累計期間の金融収益は、前第1四半期連結累計期間の31,070千円と比べて、20,172千円減少し、10,898千円となりました。

金融費用

当第1四半期連結累計期間の金融費用は、前第1四半期連結累計期間の15,445千円と比べて、21,075千円増加し、36,520千円となりました。この金融費用は、主として、支払利息並びに現金支出を伴わない外貨建ての資産及び負債の評価替えによる為替差損によるものです。

(2) 財政状態に関する分析

連結財政状態

(単位:千円)

	前連結会計年度	当第1四半期連結会計期間	差額
資産合計	20,607,389	21,282,512	675,123
負債合計	7,511,555	8,165,763	654,208
資本合計	13,095,833	13,116,748	20,915

資産合計

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べて675,123千円増加し、21,282,512千円となりました。

負債合計

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて654,208千円増加し、8,165,763千円となりました。

資本合計

当第1四半期連結会計期間末における資本合計は、前連結会計年度末に比べて20,915千円増加し、13,116,748千円となりました。

連結キャッシュ・フロー

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間	当第1四半期連結累計期間	差額
営業活動によるキャッシュ・フロー	85,455	551,137	465,681
投資活動によるキャッシュ・フロー	△237,952	△74,057	163,894
財務活動によるキャッシュ・フロー	△22,823	347,982	370,806

営業活動によるキャッシュ・フロー

当第1四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、前第1四半期連結累計期間の85,455千円の収入と比べて465,681千円増加し、551,137千円の収入となりました。主な増加要因は、税引前四半期利益の増加及び営業債権等の回収によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フロー

当第1四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、前第1四半期連結累計期間の237,952千円の支出と比べて163,894千円減少し、74,057千円の支出となりました。主な支出は、有形固定資産の取得による支出であります。

財務活動によるキャッシュ・フロー

当第1四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、前第1四半期連結累計期間の22,823千円の支出に対し、347,982千円の収入となりました。主な収入は、短期借入金の増加によるものであります。

(3) 研究開発活動

〔創薬〕

当社グループの創薬活動はCullgenを中心に展開しており、同社は、新しい創薬基盤技術であるuSMITE™(ユビキチン化を介した標的タンパク質分解誘導技術)を活用した、がん、炎症性疾患及び自己免疫疾患の新たな治療における革新的な新規化合物を見出し、医薬品として開発を行う目的で設立されました。

Cullgenは現在、がんを対象とした5つの新規分解剤の開発に注力し、2020年中に最初の臨床候補名が決定される見込みです。また、標的タンパク質分解技術の未来と考えられている、新規E3リガンドの同定と評価のための独自のプラットフォームを確立し、5つのE3リガーゼプログラムが開発中となっております。

〔臨床試験〕

■アイスーリュイ〔中国語:艾思瑞®、英語:Etuary®(一般名:ピルフェニドン)〕

放射線性肺炎(RP)

当社グループは、アイスーリュイの2番目の適応症として、RP治療薬の第3相臨床試験前パイロット試験を実施しております。これは、反復投与、多施設でのオープン試験を行うもので、2020年3月末時点で11名の被験者が登録され、10施設が本試験に参加いたしました。前事業年度第2四半期に治験実施計画書の登録基準が変更され、病院が追加となりました。2020年3月末時点で変更された治験については、39名の被験者が登録されました。従いまして、本試験は2020年度第3四半期までかかる見込みです。

糖尿病腎症(DN)

DNは、I型糖尿病またはII型糖尿病により引き起こされる慢性腎臓病です。中国では9,240万人が糖尿病に脅かされており、このうち20~30%がI型糖尿病またはII型糖尿病を患い、腎疾患を引き起こすと言われております。

当社グループは、2016年8月、国家薬品监督管理局(NMPA、旧中国食品医薬品局)からDN治療薬のIND申請に対する承認を取得し、且つ、第2相臨床試験に直接移行することを承認されております。本第2相臨床試験につきましては、2020年3月末時点で予備研究として2名の治験者が登録されております。

結合組織疾患を伴う間質性肺疾患 (CTD-ILD)

2016年9月に、結合組織疾患患者の方の肺に炎症や線維症を引き起こす肺疾患であるCTD-ILDの治療薬として、4番目のアイスーリュイの適応症でNMPAより当該治療薬のIND申請に対しての承認を受けました。このIND承認により、全身性硬化症(強皮症)と皮膚筋炎(DM)の2つのCTD-ILD適応症について、直接第3相臨床試験に移行することが承認されました。

2018年6月には、強皮症およびDMの治療を対象とした第3相臨床試験の各段階において、無作為、二重盲検、プラセボ・コントロール、52週間の試験に第1期被験者を登録しました。2020年3月末現在、被験者は強皮症では10名、DMでは27名が登録されており、引き続き被験者の登録を行っております。強皮症には144名、DM試験には152名の被験者が登録される予定です。

じん肺治療薬 (Pneumoconiosis Disease)

2019年5月、当社グループは、アイスーリュイの適応症として、じん肺治療薬としての治験許可(IND)申請に対する承認をNMPAより取得しました。じん肺疾患は、肺に炎症や癒痕化(線維化)を引き起こす慢性的な肺疾患で、吸い込まれた粉塵や微粒子が、肺の細胞に蓄積することによって引き起こされます。中国には、およそ43万3千人の患者様があり、更に、適切な診断を受けていない患者様が、最大60万人いると推定されており、中国のみならず、世界中でアンメット・メディカル・ニーズ(有効な治療方法がない疾患に対する医療ニーズ)が存在しております。BCは、病院との提携を進め、治験実施計画を決定の上、臨床試験を開始して参ります。

■F351 (肝線維症等治療薬)

F351(一般名:ヒドロニドン)は、当社グループの医薬品ポートフォリオにおける重要な創薬候補化合物であり、他の世界の主要医薬品市場へ臨床開発活動を拡大する戦略の重要な部分を占めています。

F351は、アイスーリュイの誘導体である新規開発化合物であり、肝星細胞の増殖及び内臓の線維化に重要な役割を果たすTGF-β伝達経路の両方の阻害剤です。当社グループは中国、日本、豪州、カナダ、米国及び欧州各国を含む主要な国でのF351の特許権を保有しております。

中国 - 2019年8月にF351の中国における第2相臨床試験のデータ集積の終了を発表いたしました。本第2相臨床試験は中国全土の10の病院が参加し、無作為、二重盲検、プラセボ・コントロール、エンテカビル併用投与、用量範囲、多施設との条件で試験を行い、登録された177名の被験者の内、適切な試験を行うことが出来た149名の被験者の試験データ集積をもって本試験を終了致しました。

当社グループはNMPAが要求するその他の関連臨床試験または非臨床試験や肝生検から得られた多くの病理学的データを含む、第2相臨床試験の試験データの徹底的な解析を実施しております。他方、臨床試験プロセスの監査を実施しており、監査が完了しますと結果が発表できます。しかしながら、監査の実施は複数の病院であるため、新型コロナウイルス感染拡大の影響で想定以上に時間を要しております。

第2相臨床試験が完了しましたら、第3相臨床試験の実施方法や早期条件付き承認の可能性を含め、F351が早期に承認されるよう、すべてのデータをNMPAの医薬品評価センターに提出する予定です。

米国 - 米国の開発活動は、中国の第2相臨床試験の結果が発表されるまで一時保留しております。当社グループは、米国および中国における試験で収集されたデータに基づき、米国で実施可能な試験の疾患適応および用法・用量を決定いたします。

■タミバロテン (急性前骨髄球性白血病 (APL) 治療薬)

タミバロテンはAPLの治療薬です。APLは急性骨髄性白血病の一種で、前骨髄球が「がん化」する白血病です。共同開発者である東光製薬工業株式会社および当社グループのGNI Hong Kong Limitedは、2015年10月に「アムノレイク錠2mg(一般名:タミバロテン)」を輸入医薬品としてNMPAに登録申請しており、その後、NMPAは治験施設において文書審査および医薬品の臨床試験の実施の基準(GCP)査察を実施いたしました。NMPAは審査後、申請側に対しより多くのCMC(化学、製造、品質管理)データを求めております。申請側は、追加データの事前確認中であり、2020年度第2四半期中に提出する予定です。

■F573(急性肝不全・慢性肝不全急性時(ACLF)治療薬)

F573はアイスリユイ及びF351に次ぐ3番目の創薬候補化合物として、カスパーゼを阻害する可能性を持つ強いジペプチド化合物であり、B型肝炎ウイルス(HBV)、C型肝炎ウイルス(HCV)、アルコール性肝硬変による重症肝炎に関連して発生する細胞死や炎症反応に重要な化合物です。2018年4月、F573のIND申請はNMPAにより承認され、第1相臨床試験の結果が満足できるものであれば、第2相臨床試験を実施することが認められております。

2019年3月にF573に関する権利はGNI Hong Kong Limitedより、CPIに譲渡されております。従いまして、CPIは当社グループと連携して、臨床試験施設の選定を含む第1相臨床試験の開始を準備しております。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2020年2月14日の「2020年12月期の連結業績予想」で公表いたしました予想から変更ありません。これは、新型コロナウイルス感染の収束時期、影響を見通すことが困難であるためであり、連結業績予想はその影響を反映しておりません。連結業績予想の修正を必要とした場合は適時開示して参ります。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
資産		
非流動資産		
有形固定資産	2,399,936	2,395,902
使用権資産	393,696	752,709
のれん	4,768,650	4,734,654
その他の無形資産	1,843,081	1,824,123
繰延税金資産	16	16
その他の金融資産	599,385	585,177
その他の非流動資産	361,390	—
非流動資産合計	10,366,157	10,292,583
流動資産		
棚卸資産	806,978	754,599
営業債権及びその他の債権	1,188,778	954,962
その他の金融資産	403,237	395,825
その他の流動資産	167,877	452,657
現金及び現金同等物	7,674,361	8,431,883
流動資産合計	10,241,232	10,989,928
資産合計	20,607,389	21,282,512
負債及び資本		
非流動負債		
借入金	981,950	769,849
リース負債	174,871	280,414
繰延税金負債	216,196	217,736
その他の金融負債	2,753,815	2,830,510
その他の非流動負債	168,547	164,203
非流動負債合計	4,295,382	4,262,714
流動負債		
営業債務及びその他の債務	271,812	244,833
借入金	690,823	1,337,324
リース負債	190,840	88,742
未払法人所得税	185,565	241,292
その他の金融負債	1,375,982	1,369,726
その他の流動負債	501,147	621,129
流動負債合計	3,216,173	3,903,049
負債合計	7,511,555	8,165,763
資本		
資本金	8,212,985	8,216,705
資本剰余金	4,273,412	4,214,200
自己株式	△472	△472
利益剰余金	△1,764,904	△1,632,552
その他の資本の構成要素	△28,894	△118,993
親会社の所有者に帰属する部分合計	10,692,126	10,678,887
非支配持分	2,403,706	2,437,861
資本合計	13,095,833	13,116,748
資本及び負債の合計	20,607,389	21,282,512

(2) 要約四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

要約四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)
売上収益	1,575,365	2,125,906
売上原価	△253,937	△377,012
売上総利益	1,321,428	1,748,893
販売費及び一般管理費	△959,022	△1,122,503
研究開発費	△127,681	△208,909
その他の収益	18,645	6,430
その他の費用	△2,362	△7,442
営業利益	251,008	416,469
金融収益	31,070	10,898
金融費用	△15,445	△36,520
税引前四半期利益	266,634	390,846
法人所得税費用	△27,415	△132,506
四半期利益	239,218	258,340
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	119,222	132,351
非支配持分	119,995	125,989
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	2.87	3.05
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	2.84	2.96

要約四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)
四半期利益	239,218	258,340
その他の包括利益		
純損益にその後に振替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	21,907	△145,882
その他の包括利益合計	21,907	△145,882
四半期包括利益合計	261,125	112,457
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	130,703	39,042
非支配持分	130,421	73,414

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間(自2019年1月1日至2019年3月31日)

(単位:千円)

	親会社の所有者に帰属する部分						
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素		
					新株予約権	在外営業活動体の換算差額	合計
2019年1月1日残高	7,511,950	3,352,602	△407	△1,946,745	68,836	28,838	97,675
四半期利益	-	-	-	119,222	-	-	-
その他の包括利益	-	-	-	-	-	11,480	11,480
四半期包括利益合計	-	-	-	119,222	-	11,480	11,480
支配継続子会社に対する持分の変動	-	28,698	-	-	-	6,466	6,466
新株の発行	983	983	-	-	△947	-	△947
非支配持分への売建 プット・オプション 負債の変動	-	22,720	-	-	-	234	234
所有者との取引額合計	983	52,403	-	-	△947	6,700	5,753
2019年3月31日残高	7,512,934	3,405,005	△407	△1,827,522	67,888	47,020	114,909

	親会社の所有者に帰属する部分		
	合計	非支配持分	資本合計
2019年1月1日残高	9,015,074	992,861	10,007,936
四半期利益	119,222	119,995	239,218
その他の包括利益	11,480	10,426	21,907
四半期包括利益合計	130,703	130,421	261,125
支配継続子会社に対する持分の変動	35,164	△35,164	-
新株の発行	1,020	-	1,020
非支配持分への売建 プット・オプション 負債の変動	22,955	△63,212	△40,256
所有者との取引額合計	59,140	△98,377	△39,236
2019年3月31日残高	9,204,918	1,024,905	10,229,824

当第1四半期連結累計期間(自2020年1月1日至2020年3月31日)

(単位:千円)

	親会社の所有者に帰属する部分						
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素		
					新株予約権	在外営業活動体の換算差額	合計
2020年1月1日残高	8,212,985	4,273,412	△472	△1,764,904	96,199	△125,094	△28,894
四半期利益	-	-	-	132,351	-	-	-
その他の包括利益	-	-	-	-	-	△93,308	△93,308
四半期包括利益合計	-	-	-	132,351	-	△93,308	△93,308
分配金の支払	-	-	-	-	-	-	-
新株の発行	3,720	3,720	-	-	△3,480	-	△3,480
株式報酬取引	-	-	-	-	15,878	-	15,878
非支配持分への売建 プット・オプション 負債の変動	-	△62,932	-	-	-	△9,188	△9,188
所有者との取引額合計	3,720	△59,212	-	-	12,398	△9,188	3,209
2020年3月31日残高	8,216,705	4,214,200	△472	△1,632,552	108,598	△227,591	△118,993

	親会社の所有者に帰属する部分		
	合計	非支配持分	資本合計
2020年1月1日残高	10,692,126	2,403,706	13,095,833
四半期利益	132,351	125,989	258,340
その他の包括利益	△93,308	△52,574	△145,882
四半期包括利益合計	39,042	73,414	112,457
分配金の支払	-	△94,653	△94,653
新株の発行	3,960	-	3,960
株式報酬取引	15,878	-	15,878
非支配持分への売建 プット・オプション 負債の変動	△72,120	55,393	△16,727
所有者との取引額合計	△52,282	△39,259	△91,542
2020年3月31日残高	10,678,887	2,437,861	13,116,748

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	266,634	390,846
減価償却費	52,805	71,854
営業債権及びその他の債権の増減額	△541,262	191,275
営業債務及びその他の債務の増減額	418,494	△23,289
棚卸資産の増減額	△38,591	40,076
金融収益及び金融費用	△15,625	2,721
その他	810	△82,988
小計	143,264	590,497
利息の受取額	6,214	34,643
利息の支払額	△24,177	△14,687
法人所得税の支払額	△39,845	△59,316
営業活動による正味キャッシュ・フロー	85,455	551,137
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額	—	9,108
有形固定資産の取得による支出	△117,926	△77,971
無形資産の取得による支出	△11,300	△6,890
差入保証金・敷金の減少による収入	32	—
貸付金の回収による収入	1,696	1,696
投資有価証券の取得による支出	△110,454	—
投資活動による正味キャッシュ・フロー	△237,952	△74,057
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金増減額	8,186	483,390
長期借入金の返済による支出	△25,000	△25,000
新株予約権の行使による株式の発行による収入	1,020	3,960
非支配持分への分配金の支払による支出	—	△94,653
リース負債の返済による支出	△7,029	△19,714
財務活動による正味キャッシュ・フロー	△22,823	347,982
現金及び現金同等物に係る換算差額	13,081	△67,540
現金及び現金同等物の増減額	△162,238	757,522
現金及び現金同等物の期首残高	4,869,762	7,674,361
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,707,524	8,431,883

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(作成の基礎)

(1) IFRSに準拠している旨の事項

当社グループの要約四半期連結財務諸表は、国際会計基準第34号「期中財務報告」に準拠して作成しております。

当社グループは、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）第1条の2に掲げる「指定国際会計基準特定会社」の要件を満たしていることから、同第93条の規定を適用しております。

本要約四半期連結財務諸表には年次の連結財務諸表で要求される全ての情報が含まれていないため、2019年12月31日に終了した連結会計年度の当社グループの連結財務諸表と併せて利用されるべきものです。

(2) 測定の基礎

当社グループの要約四半期連結財務諸表は、公正価値で測定されている金融商品を除き、取得原価を基礎として作成しております。

(3) 機能通貨及び表示通貨

当社グループの要約四半期連結財務諸表は、当社の機能通貨である日本円を表示通貨としており、千円未満を切り捨てて表示しております。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち、分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、その事業内容を医薬品事業と医療機器事業の二つに区分しております。医薬品事業では、医薬品の研究開発、製造、販売及び受託研究などを行っており、医療機器事業では、生体材料を含む医療機器の研究開発、製造及び販売を行っております。

各報告セグメントの主要製品は以下のとおりであります。

報告セグメント	会社名	主要製品
医薬品事業	株式会社ジーエヌアイグループ、北京コンチネント薬業有限公司、上海ジェノミクス有限公司、GNI Hong Kong Limited、GNI Tianjin Limited、上海ジェノミクステクノロジー有限公司、Cullgen (Shanghai) Inc.、GNI USA, Inc.、Cullgen Inc.、上海リーフ国際貿易有限公司	アイスーリュイ、医薬品開発、その他医薬品、試薬
医療機器事業	Berkeley Advanced Biomaterials LLC	生体材料

(2) 報告セグメントの売上収益及び損益

当社グループの報告セグメント情報は以下のとおりです。

前第1四半期連結累計期間(自2019年1月1日至2019年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	連結
	医薬品事業	医療機器事業	合計		
売上収益					
(1) 外部顧客への売上収益	1,092,955	482,410	1,575,365	—	1,575,365
(2) セグメント間の内部売上収益又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,092,955	482,410	1,575,365	—	1,575,365
セグメント利益	37,488	187,412	224,901	26,107	251,008
				金融収益	31,070
				金融費用	△15,445
				税引前四半期利益	266,634

- (注) 1 セグメント間の内部売上収益又は振替高は、独立企業間価格に基づいております。
 2 セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
 3 セグメント利益は、要約四半期連結損益計算書の営業利益を用いております。

当第1四半期連結累計期間(自2020年1月1日至2020年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	連結
	医薬品事業	医療機器事業	合計		
売上収益					
(1) 外部顧客への売上収益	1,693,935	431,971	2,125,906	—	2,125,906
(2) セグメント間の内部売上収益又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,693,935	431,971	2,125,906	—	2,125,906
セグメント利益	285,555	130,402	415,957	511	416,469
				金融収益	10,898
				金融費用	△36,520
				税引前四半期利益	390,846

- (注) 1 セグメント間の内部売上収益又は振替高は、独立企業間価格に基づいております。
 2 セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
 3 セグメント利益は、要約四半期連結損益計算書の営業利益を用いております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。